

KIIS TOPICS



11月は、対面授業の割合が90%以上になり、にぎわいも戻ってきたんですが・・・。

新型コロナウイルス感染症の影響で、後期開講時(9/24)は、全授業、遠隔方式で実施していましたが、段階的に緩和して、11月には、全体の90%以上の科目を通常の対面方式で実施しました。また、10月中旬からは、学食も再開して、前期に引き続き、学生支援価格(200円~300円)で提供したところ、一人暮らしでコンビニ弁当ばかり食べていた学生には、とても人気があったようです。少しずつにぎわいも戻ってきて、ようやく通常に戻る日も近いのかと思っていましたが、残念ながら、1月に入り、また新型コロナウイルス感染症の影響が出てきました。今後の感染状況によっては、遠隔授業の割合が増えるかもしれませんが、今回は11月の対面授業の様子などを少し紹介します。



1年生の選択科目「webコンテンツ制作I」の授業は、履修者が多かったため、遠隔方式で実施していましたが、11月から対面授業となり、約60名の学生が受講していました。担当の平塚先生はweb制作会社で仕事をされていることもあり、最新のwebに関する技術を学べるため、みんな真剣に受講していたのが印象的でした。中には、スマホをいじっている学生がいたので、さぼっているのかと思いましたが、ちょうど「レスポンスデザイン」(デスクトップ版のウェブページを閲覧者の画面サイズまたはウェブブラウザに応じて表示できるようにする)の勉強をしているようでした。

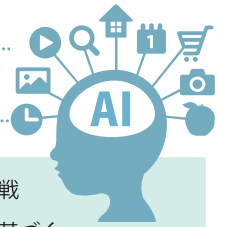


2年生の選択科目クリスフリン先生の「国際情報分析」の授業も対面授業となり、約50名が受講していました。この授業は「世界の主な新聞、テレビ、インターネットサイトなどの記事やレポートを徹底的に分析、理解、そして議論する。」ことを目的にしています。感染対策上、マスクを外すことはできませんが、英語で活発な議論をしていました。



例年、12月には学生会主催のクリスマスパーティーを実施していましたが、今年はコロナ禍のため、実施できませんでしたが、テレビ、ワイヤレススピーカー、ワイヤレスイヤホン、スマートバンドなどが当たるお楽しみ抽選会を実施しました。

K IIS 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム



・修了時に修了証を授与。就活に活用しよう！

「AI戦略2019」(令和元年6月11日統合イノベーション戦略推進会議決定)では、文系・理系を問わず全ての大学・高専生(約50万人卒/年)が正規課程にてリテラシーレベルの数理・データサイエンス・AIを修得することを目標とするとあります。本学では、令和元年度1年次入学生から「KIIS数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシー・応用基礎)」を実施しています。このたび、リテラシーレベルが「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度実施要綱」(令和3年2月24日文科科学大臣決定)の規定に基づく令和3年度「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」に認定されました(令和3年8月4日)。

このプログラムは正規課程が対象となりますので、学生は指定の科目を履修登録し、その科目を修得(単位取得)するだけです。本学では、就職活動にも活用できるように修了要件を満たせば、卒業時ではなく、その時点で修了証を授与しています。今年度前期終了時点で7名の学生がリテラシーレベルを修了し、修了証を授与されました。



企業の経営では、蓄積された経験やデータを元に戦略を立てる必要があります。近年は、客観的データに基づく判断の重要性がどんどん増しています。今後、このような客観的データを提供し、分析・活用できる人材の需要はますます高まります。そして会社の規模や業種を問わず、あらゆる企業にとって必要になるでしょう。そのため本学は、「KIIS数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル・応用基礎レベル)」を実施して、その素養を持っている学生をたくさん輩出していきたいと考えています。

本学が目指す「データサイエンス」教育とは

「KIIS数理・データサイエンス・AI教育プログラム」運営委員長 橋爪 善光 准教授
(担当科目:統計学入門、データ解析、データモデリングほか)



本学では、令和元(2019)年度よりデータサイエンスに関係する科目の充実を図り、現在「KIIS数理・データサイエンス・AI教育プログラム」という本学独自の教育プログラムの運用をはじめ

ています。本教育プログラムでは2種類のレベルを用意しています。1つはデータサイエンスが今社会でどのように活用されているか等の事例を学ぶことを中心としたリテラシーレベル、もう1つは実際に自分でデータ解析をするための技術や知識を身につける応用基礎レベルです。

リテラシーレベルに関しては、どのような業界に就職した場合でも役に立つものばかりですので、是非全学生に修得してもらいたいと思っています。

リテラシーレベル(18単位) 文部科学省認定プログラム

必修科目	選択科目(3科目以上修得)
情報リテラシー演習	マーケティング論
情報学入門	消費者行動論
基礎数学	マーケティング・リサーチ
情報倫理	経営分析
統計学入門	ビジネスプログラミング(NW)
経営情報論I	経営情報論II

身に付けることのできる能力

社会においてどのようにデータやAIを取り扱っているのか、そしてそれを活用しているのかに関する知識を身に付けるとともに、データの取り扱い方やデータを読む力などの基礎的な能力を身に付ける。

応用基礎レベル(54単位)

左記リテラシーレベル修得プラス下記16科目必修	
情報数学I	情報ネットワーク入門
情報数学II(NW)	データベース論
統計学	アルゴリズムとデータ構造
多変量解析(NW)	プログラミング実践I(NW)
データ解析(NW)	プログラミング実践II(NW)
データモデリング(NW)	機械学習(NW)
統計プログラミング(NW)	人工知能(NW)
計量経済分析	情報セキュリティ

身に付けることのできる能力

数理・データサイエンス・AIの基礎的知識・技能を身に付け、データ分析を正しく行うためのデータ処理・プログラミングスキルを身に付けるとともに、分析結果を正しく解釈し、自分の専門分野に応用する力を身に付ける。

YouTube アカウントの視聴データを分析 & 活用して動画を作成中！



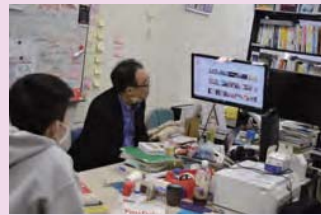
マーケティング実践研究会



10月、九州情報大学グラウンドにおいて、マーケティング実践研究会と福岡の地元アイドル「博多 ORIHIME」さんほか、タレント、モデルさんも参加した動画撮影が行われました。内容は「秋のスポーツテスト！！」ということで、定番の体力測定会。とても動画視聴率が高い企画もの。当日はとても天気も良く、気持ちいい空気の中、スポーツテストは無事終了。すでに動画も作成され、アップロードされています。



マーケティング実践研究会では、このように撮影した動画の編集を行ったり、YouTube にアップロードされた動画の視聴に関するデータを分析、活用して、今後の撮影計画などに生かしています。



アップロード動画は YouTube にて公開中！

前編 URL : <https://youtu.be/Byyavepu0RE>



後編 URL : https://youtu.be/lgSzxLm_310



★動画分析ツール YouTube アナリティクスとは

YouTube アナリティクスは、YouTube に投稿した動画単体やチャンネル全体のアクセス解析ができるツールです。YouTube のアカウントを持っている人なら、誰でも無料で利用可能なもので、「再生数」や「視聴者数」、さらには「年齢」や「性別」などから「どんな人が視聴しているのか」「どんな内容が人気なのか」などをさらに細かく分析して、動画の成功パターンを確認したり、逆に動画の問題点なども分析することができます。

★YouTube アナリティクスデータを解析 & 分析結果をもとに動画作成★

毎回アップロードした、動画のデータがダウンロードできるので、YouTube アナリティクスから得たそのエクスポートデータを取り込み、そのデータ活用して、次回以降「どのような内容の動画を撮影するか」「どのようなシーンを取り込んだらいいか」など、ターゲット層に合わせて内容を変えたり、さらにサムネイル・タイトルを変えていくことも有効なので、さまざまな基本データを活用してサークルでは企画、構成などを練って、撮影、編集などを行っています。

★YouTube 動画と SNS との連携プロモーション戦略★

現在は YouTube のアナリティクスの分析 & 活用だけに限定していません。YouTube は多くの SNS との連携も可能なので、マーケティング実践研究会では、各 SNS の使用目的や使用意図などを検討し、マーケティング戦略を考え、いかに SNS で多くの視聴者数を獲得するかなど、SNS のマーケティングを展開していきたいと思っています。

このように、YouTube など SNS とよばれているものは、アカウントさえ持てば、データを使って分析するツールを簡単に得ることができます。



すでに動画アプリなどで誰でも簡単に動画が作成できる時代になって、TikTok など、動画作成が私たちに気軽に身近な情報発信ツールになってきています。そのなかでデータ分析をしながら、いかに中身（コンテンツ）をデータから得た情報をもとに充実していくのが重要になってくるでしょう。

マーケティング実践研究会では、SNS などに関するさまざまな分析ツールを活用したり、他の成功事例なども参考にしながらこれからも動画作成に向けた研究や戦略を検討、実践していきたいと思っています。最後に、撮影に協力してくれた陸上部のみなさんにも感謝します。

情報大 SNS

九州情報大学の公式 SNS はこちらです。情報大の日常的な内容を含めて、随時更新していますので、ぜひご覧ください。フォローをよろしくお願いします。



九州情報大学
公式 Instagram
https://www.instagram.com/kiis_insta_official/



九州情報大学
公式 Twitter
https://twitter.com/kiis_official



九州情報大学
公式 Facebook
<https://www.facebook.com/kiis.jp>



九州情報大学
公式 You Tube
チャンネル名：kiisdouga



ゼミ紹介

「Dazaifu Music EXPO」に裏方スタッフとして参加しました！

秋吉浩志ゼミ

2021年11月21日(日)太宰府市観世音寺1-3-1「プラム・カルコア太宰府」で行われた太宰府市初の音楽フェスタ「Dazaifu Music EXPO」に本学の秋吉浩志ゼミナールならびにマーケティング実践研究会のメンバーが裏方スタッフとして参加しました。当日は朝から、主にCDなどの物販準備や会場設営、インターネット配信のためのカメラや機材設置を主に担当、コンサートが始まると、内外のお客様の案内や整理、ネット配信のカメラのオペレーション作業など、大事な役割を参加学生みんなで担当しました。会場はコロナ対策を十分行いつつ、客席もソーシャルディスタンスを取りながらの開催だったため、普段の最大収容人数の半分ほどのお客様の参加でしたが、会場はほぼ満席。出演アーティストはメジャーアーティストの「Neontetra」さんを含む8組。司会には元アイドルの遠藤



参加した他大学の学生スタッフの皆さんと一緒に前列左から2・3番目は主催者のメジャーアーティスト「Neontetra」さん。

舞さんなど、出演者も豪華で盛りだくさん。大盛況のうちにコンサートが無事終了しました。今回は、コンサートの現場を生で観たり、裏方スタッフとしての体験をすることができました。コンサート運営に関わったり、インターネットLIVE配信の手伝いをしたりと、普段なかなか体験することができない貴重な経験だったと学生みんなの感想。今後もコンサートは開催される模様で、今後の開催にも秋吉ゼミやサークルもぜひ、積極的に参加したいと思っています。



コンサート終了後も記念撮影



コンサート終了後も記念撮影



よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

一般社団法人 福岡県中小企業家同友会



KIIS
Kyushu Institute of Information Sciences

～未来が求める自分になれる～

九州情報大学

福岡県中小企業家同友会との連携事業として

1年次必修科目「コミュニケーションと自己発見Ⅱ」で特別授業を実施しました

10月13日(水)、1年生対象必修科目「コミュニケーションと自己発見Ⅱ」の時間に九州情報大学キャリアデザインセンターと中小企業家同友会との連携事業の一環として特別授業が行われました。

第1部では、本学のリモートスタジオから1年生全員に向けたZoomによるオンライン授業、中小企業家同友会に加盟している株式会社中村タイル商会代表取締役



株式会社 中村タイル商会
代表取締役 中村 正昭さん

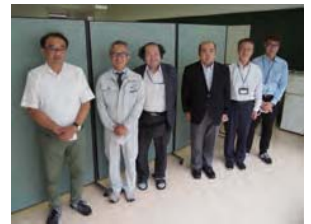
中村正昭さんに昨年にひきつづき講演していただきました。大学時代の話、現在の仕事の話、大学生のときにしなくてはいけない大事なことなど、中村さんの人生経験を経て、現在に至るまでの、大切に興味深い話が満載。講演終了後には、学生からの質問も受け付け、なかなか鋭い質問もありましたが、丁寧に応えていただきました。学生にとっても有意義な時間だったように思われます。学生は、リモート

による遠隔授業にも慣れてる様子で、配信関係のトラブルもなく、スムーズに進行して、無事終了。講演終了後には、キャリアデザインセンターの職員、就職対策委員長、コミュニケーションと自己発

見担当の教員と反省会を行い、社会進出に向けて、今後学生の皆さんにどのようなことを伝えるべきかなど、中村さんにいろいろアドバイスをいただきました。来年も開催予定です。

ありがとうございました。

インタビュアー：秋吉浩志准教授



ようこそ先輩



卒業生の山本佳奈さん

第2部の「ようこそ先輩」

では、福岡県中小企業家同友会加盟の企業で活躍されている先輩からの動画を配信しました。2020年卒業の山本さんは、株式会社すこやか工房(健康食品通信販売)で現在、顧客戦略室CSセンターに所属し、お客さま満足度アップの企画や受注対応業務を担当しています。「誰かを笑顔に、幸せにできる仕事」が就職活動の軸だった山本さんは、すこやか工房の経営理念に



共感し入社しました。学生時代に力を注いでいて良かったことは、アルバイト、部活動、ゼミ活動、授業の4つを挙げ、中でも仕事で頻繁に使用するエクセル等の作業で大学の授業が大いに役に立っているそうです。最後に、「大学生の時こそ色々なことにチャレンジできる時間があり、どんなことでも自分自身の経験(学び)になる」と後輩の皆さんへのメッセージをくれました。

